

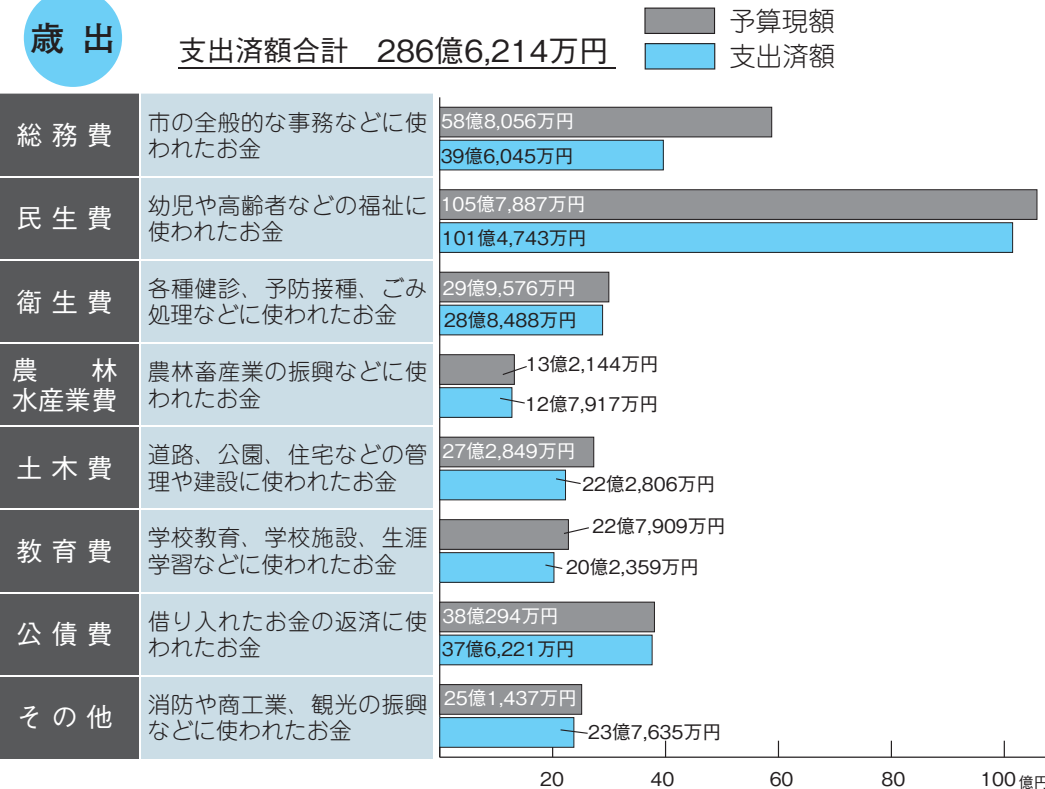
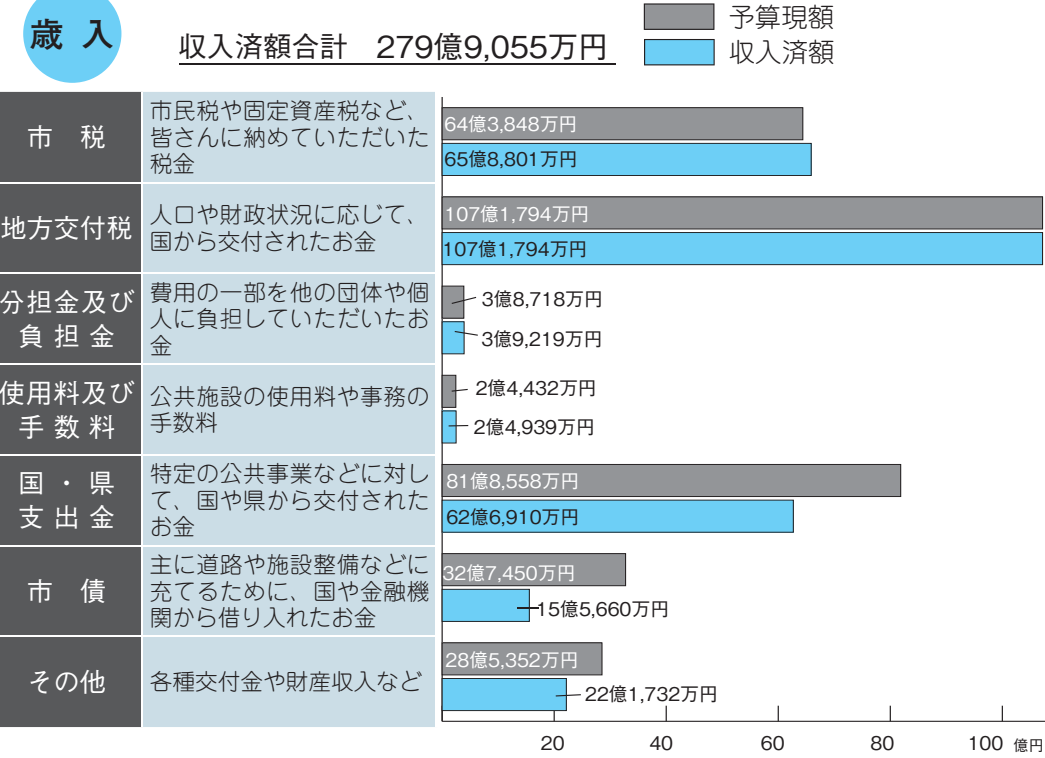
# 市の財政状況をお知らせします

市では、財政の運営状況や各会計予算の執行状況を年2回市民の皆さんに公表しています。今号では、平成27年3月31日現在の平成26年度予算執行・借入金・財産の状況をお知らせします。なお、予算執行を整理する出納整理期間（平成27年4月1日から5月31日まで）の歳入・歳出は含みません。

開政策財政課財政係 ☎6713

## 一般会計 歳入・歳出予算現額は 321億152万円

(1万円未満は四捨五入、平成25年度からの繰越分を含む)



人口63,581人 世帯数27,104世帯 (平成27年3月31日現在)

**市税額** ▶市民1人当たり 10万3,616円 (歳入の市税収入済額÷人口)  
▶1世帯当たり 24万3,064円 (歳入の市税収入済額÷世帯数)

**歳出** ▶市民1人当たり 45万797円 (歳出の支出済額合計÷人口)  
▶1世帯当たり 105万7,487円 (歳出の支出済額合計÷世帯数)

※1人当たり10万3,616円の市税の収入に地方交付税などを加えて、1人当たり45万797円の支出で市の各種の施策が進められたこととなります。



## 特別会計

一般会計と別に特定の事業を行うために独立して経理を行う会計です。

	国民健康保険事業	地方卸売市場事業	後期高齢者医療	介護保険事業	温泉事業
予算現額	76億5,057万円	4,036万円	5億7,122万円	69億6,160万円	2,602万円
収入済額	64億5,353万円	2,638万円	5億6,735万円	64億390万円	2,348万円
支出済額	69億8,772万円	3,755万円	5億5,457万円	58億1,731万円	2,091万円

## 企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営する会計です。

会計名	区分	予算現額	執行額	備考	
病院事業	収益的	収入	82億617万円	90億8,431万円	病床数 379床 患者数 (入院) 94,136人 (外来) 156,920人
		支出	115億6,724万円	115億4,118万円	
	資本的	収入	13億4,873万円	13億2,223万円	
		支出	16億4,023万円	16億869万円	
水道事業	収益的	収入	17億5,945万円	17億581万円	配水量 7,194,165m <sup>3</sup> 給水人口 62,523人
		支出	18億6,329万円	16億3,382万円	
	資本的	収入	9億9,296万円	9億7,136万円	
		支出	18億8,897万円	18億1,076万円	
下水道事業	収益的	収入	26億658万円	25億5,251万円	処理水量 5,173,727m <sup>3</sup> 処理区域内人口 50,790人
		支出	28億528万円	27億2,411万円	
	資本的	収入	12億1,845万円	12億1,144万円	
		支出	20億5,940万円	20億4,684万円	

▶収益的収入と支出  
企業の経営活動により発生する収益と経営活動を行うための費用  
例収入…水道料金  
支出…給水を行うための維持管理費、人件費

▶資本的収入と支出  
企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良や企業債償還金などの支出とその財源となる収入  
例収入…配水管整備のための借入金  
支出…配水管整備費

### 市債の現在高

(平成27年3月31日現在)

会計名	金額
一般会計	302億9,599万円
特別会計	3,987万円
企業会計	221億8,610万円

※市債とは、学校や病院、道路などの建設や災害復旧工事など多額の経費を要する事業を行う場合に借り入れできる借金のことです。この市債は長期にわたり計画的に返済を行うため世代間の公平化が図られます。

### 一時借入金の現在高

(平成27年3月31日現在)

会計名	金額
一般会計	3億2,868万円
企業会計	5億2,000万円

※一時借入金とは、一会計年度内に現金が不足した場合に借り入れるお金です。一般会計、特別会計では翌年度の5月31日までに、企業会計では当該年度の3月31日までに償還しなければなりません。  
※企業会計は、3月31日における償還前の金額を表示しています。

### 一般会計・特別会計の財産

(平成27年3月31日現在)

土地 1,391万9,991m <sup>2</sup>	有価証券 4,280万円	財政調整基金 山林 242万6,762m <sup>2</sup> 有価証券 235万円 現金 62億2,207万円
建物 28万7,097m <sup>2</sup>	出資金 2億9,712万円	

※財政調整基金とは、経済状況や災害などの事由により、予期しない収入の減少や不時の支出増加に備え、長期的視野に立ち、年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。

### 企業会計の財産

(平成27年3月31日現在)

区分	病院	水道	下水道
建物	105億6,688万円	7億2,299万円	17億4,450万円
機械	12億4,890万円	8億2,368万円	24億3,268万円
備品		1,279万円	131万円
構築物	1億5,741万円	136億2,201万円	329億1,576万円
土地	1億7,565万円	2億781万円	2億5,823万円
車両	274万円	617万円	46万円
その他	9,014万円	1,601万円	1,771万円
建設仮勘定	0	16億6,711万円	6,752万円
計	122億4,172万円	170億7,857万円	374億3,817万円

※建設仮勘定とは、建設中の建物などへの支出額を仮に計上する科目です。建設が完了すると、建物など他の区分に振り替えられます。